

ハイパーエクセレント ラーニング・プログラム

～親会社からの受注中心企業向け～（背景・狙い・結果）

～一般顧客からの受注企業向け～（背景・狙い・結果）



2019年6月10日

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会 （ABC協会）

研修の背景

(親会社からの受注中心企業の場合)

親会社からの受注中心企業にとって、収益及び親会社との連携向上は重要課題である。

一般的に要件定義からの参画は少ない。

また、親会社との人材交流をしたプロジェクト推進も少ない。

将来を見据えた企業の経営戦略および人材育成やプロジェクト管理方法は独特の特徴を持っているが、一般には知られていない。

「10年前と現在と比較して売上高・顧客満足度は向上しましたか」

「SEの生産性および人材育成は向上しましたか」

「要件定義からの参加および失敗プロジェクトは無くなりましたか」

「親会社の期待に応えられていますか（人材育成・業務知識・保守運用など）」

「更なるビジネスの発展・拡大が期待できますか」

などと、経営者に質問してみると、自信を持って「YES」と答える経営者は少ない。

研修の狙い （親会社からの受注中心企業の場合）

- 親会社からの要求に対し正しい理解&親会社との連携向上
- ビジネスモデル・業務知識・プロジェクト管理などの事業計画の作成と内容の充実
- 生産性・品質向上に向けて親会社との予実管理の連携向上
- 個人能力の向上及び組織力の向上



研修結果 （親会社からの受注中心企業の場合）

- 人材育成による生産性および品質性向上の確保
- 親会社との連携による満足度向上および提案内容の充実
- 残業時間および工期遅延の減少

研修の背景

(一般顧客からの受注企業の場合)

ソリューション企業にとって、収益性及び顧客満足度の向上は重要課題である。
10%以上の高収益を続けている企業の経営戦略とプロジェクト管理方法は独特の特徴を持っているが、一般には知られていない。

「10年前と現在と比較して売上高は増加しましたか」

「営業利益率は向上しましたか」

「SE一人当たりの生産性は向上しましたか」

「失敗プロジェクトはなくなりましたか」

「貴社の将来は明るいですか、更なる発展が期待できますか」

などと、経営者に質問してみると、自信を持って「YES」と答える経営者は少ない。
情報産業は「楽しい、達成感のある、高い報酬の得られる憧れの職場である」と考えている。

研修の狙い （一般顧客からの受注企業の場合）

- 顧客要求の正しい理解または顧客への指導向上
- 無理な経営計画の作成と判断の回避
- 生産性向上で大幅な残業短縮
- そのための個人能力の向上及び組織力の向上



研修結果 （一般顧客からの受注企業の場合）

- 残業時間が減少し工期遅延もなくなる
- システムのカットオーバーした日は定時で帰宅できる品質の確保
- 営業利益率は今の2倍以上確保
- 顧客満足度の向上

研修カリキュラム (2019年度～)

1. イノベーションの創出と情報システム 【細川泰秀】	6H	対象者	＜人数と料金＞	備考
1-1：進化する企業の事業戦略と発展するための人材育成方法	2H	上級管理者	制限無：30万（税別）	各コース30万（税別） 人数制限はありません （ネット参加OK）
1-2：失敗しないプロジェクト管理手法	2H		制限無：30万（税別）	
1-3：経営者が活用できるシステム評価基準	2H		制限無：30万（税別）	
2. ソフトウェア開発の見える化と図る化 【太田忠雄】	6H	対象者	＜人数と料金＞	備考
2-1：生産物量と生産性による独自の生産管理方式（ACTUM）	2H	PM/PL	30名：30万（税別）	各コース30名まで30万 （1万円/人） 31名以上の追加参加に対し ては2時間8000円/人
2-2：ACTUMによる開発プロセスの改善と上流工程課題の改善	2H		30名：30万（税別）	
2-3：独自のSRMモデルなどを使用したステークホルダ課題の改善	2H		30名：30万（税別）	
3. 一歩進んだプロジェクト管理と業務モデリング 【大島正善】	17H	対象者	＜人数と料金＞	備考
3-1：進捗の遅れを発生させないための計画・管理のポイント（WS有）	7.5H	PM/PL	15名：56万（税別）	最小10名まで 最大15名まで
3-2：技術者が業務分析をリードし要件定義を遂行するための勘所（WS有）	7.5H	業務分析 担当	20名：75万（税別）	最小15名まで 最大20名まで
3-3：ソフトウェア開発が困難である本質的理由とリポジトリの価値	2H	全て	30名：30万（税別）	31名以上の追加参加に対し ては2時間8000円/人

研修・資料・人数と料金・契約について

■研修について

- 1日コースと2時間（あるいは半日）コースをご提供いたします。必要なコースをご選択ください。
- コース毎の内容について、事前に重点ポイントをご紹介し相談させていただく中で取舍選択も可能とさせていただきます。
- 受講対象者は、研修カリキュラムに記載のとおりですが、一定のご経験がある方を想定しています。
- 1回のコースでの受講人数は、コースにより最大可能人数を規定している場合があります（ワークショップ[WS]付きの場合）。
- 会場はお客様先でご提供お願いいたします。

■資料の取扱いについて

- 細川講師・大島講師の場合は機密情報は無いものとしておりますが、部分的に「複写・複製・転写禁止」の表示をしております。
- 太田講師の場合は状況によりお客様と機密保持契約の締結をして頂いております。また、資料には「無断複写複製禁止」の表示をしております。
- 資料はお客様の責任者に直接渡すことにしております（状況によりPDFでお願いする事も御座います）。
- 人数分のコピーはお客様にお願いしております。

■人数と料金について

- 細川講師の場合
各コース30万円（税別）としております。人数の制限はございません。ネット参加もOKです。
- 太田講師の場合
各コース30名で30万円（税別）としております。31名以上の追加参加の場合は8000円（税別）/人の料金になります。
- 大島講師の場合
太田講師の料金体系に合わせております。
＜3-1＞1日コース（7.5H）で最大15名の場合は56万円（税別）としております（7.5H/2H*15名*1万円÷56万円）。
＜3-2＞1日コース（7.5H）で最大20名の場合は75万円（税別）としております（7.5H/2H*20名*1万円=75万円）。
＜3-3＞2Hコースは30万円（税別）としております。31名以上の追加参加の場合は8000円（税別）/人の料金になります。

■ABC協会との契約について

- ABC協会はお客様との基本契約・機密保持契約はしておりません。見積書・請求書で処理させて頂いております。

講師略歴

■細川 泰秀（ほそかわ やすひで）

富士製鉄（現新日鐵住金株式会社）入社。同社システム開発センター長を経て、1988年エヌエスアンドアイ・システムサービス株式会社副社長就任。

2002年社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）専務理事就任。同副会長を経て、2015年一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会（ABC協会）を設立、副会長に就任、現在に至る。IT分野におけるユーザー、ベンダーの両方の経験を活かし、業界への提言や研究活動が評価され、2012年経済産業大臣「情報化促進貢献個人等表彰」を受賞。

主な著作等

「企業IT動向調査」（経済産業省）執筆、編集主幹（2005～2010年）

「ソフトウェアメトリックス調査報告書」執筆、編集主幹（2004～2014年）

システム・レファレンス・マニュアル（IPAプロジェクト）第1巻執筆、監修（2006年）

システム・レファレンス・マニュアル（IPAプロジェクト）第2巻執筆、監修（2007年）

UVCプロジェクト（経済産業省受託）上巻 執筆、監修（2008年）

UVCプロジェクト（経済産業省受託）下巻 執筆、監修（2009年）

講師略歴

■太田 忠雄（おおた ただお）

システムエンジニアとして、株式会社ジャステックに入社。
1987年同社取締役開発部門責任者、2003年同社常務取締役を経て、2018年4月から同社顧問、
現在に至る。2003年には、責任者として、日本で初めて全社を対象としたCMMIのレベル5を達成。

独立行政法人情報処理推進機構(IPA/SEC)「ソフトウェアの見積り手法部会 & 高信頼化手法WG」の部会長、「システム構築上流工程強化部会」委員、「重要インフラ情報システム信頼性研究部会 & 信頼性向上ガイドライン部会」（経済産業省、IPA/SEC、JUAS）委員を歴任、現在はIPA「システム化要求WG」委員、「組込み系メトリクスWG」アドバイザー、さらに「東京電機大学大学院・総合技術特別講座の講師も努める。

主な著作等

ソフトウェア開発見積りガイドブック(新規,改良,テスト) 執筆、編集主幹 (2006～2008年)
高信頼化ソフトウェアのための開発手法ガイドブック 執筆、編集主幹 (2011年)
プロセス改善ナビゲーションガイド (ベストプラクティス編) 執筆 (2008年)
重要インフラ情報システム信頼性研究会 報告書 執筆 (2009年)
UVC研究プロジェクト報告書 要求仕様(上巻),非機能要求(下巻) 執筆 (2007年,2008年)
情報システム管理の神髄 執筆 (2012年)、ユーザのための要件定義ガイド 執筆 (2017年)

講師略歴

■大島 正善（おおしま まさよし）

ABC協会 主席コンサルタント

MBC（Method Based Consulting） 代表コンサルタント

日本IBM社にて、ソフトウェア・エンジニアリングおよび品質管理に関する仕事に長年従事。
また、EA体系に基づく官庁の最適化計画の策定や、ビジネス・モデリングのコンサルティング、
および、大規模SIプロジェクトでの業務分析、アーキテクチャ設計統括、プロジェクト計画策定、
トラブルプロジェクトのリカバリー支援などの仕事に従事。

ここ数年は、ユーザー主体開発の観点からユーザー企業の人材育成とシステム開発のイノベーション
を推進する活動に従事。

著書：「超高速開発が企業システムに革命を起こす」（日経BP社）出版（共著） 2014 など。

ハイパーエクセレントラーニング・プログラム（略称HELP）の全体像

編	研修名称	時間	講師
1	イノベーション創出と情報システム ・進化する企業の事業戦略と発展するために人材育成方法 ・企業の利益率向上方法	1 日	細川 泰秀
2	ソフトウェア開発の見える化と図る化 ・生産物量と生産性の測定基準 ・開発工程を一貫して測定するリスク管理 ・チーム力に着目した障害の早期発見方法と対策	1 日	太田 忠雄
3	一步進んだ情報システム開発方法と勘所 ・進捗遅れを発生させない計画・実行管理のポイント ・技術者が業務分析をリードし要件定義を遂行する新手法	2 日	大島 正善
4	アジャイル開発方法論 ・ドキュメントのない、プロマネのいない、開発方法 ・組織運営を変えるアジャイル開発 ・アジャイル開発で効果を発揮する言語	2 日	長瀬 嘉秀
5	コミュニケーションのBoot Camp ・コミュニケーション、インタラクション、人間力	1 日	西川 宏
6	業務モデル、情報システムモデルの一貫性 ・業務目的、重要性、緊急性からの分析・未熟なSEを助ける方法論「GUTSY4」	2 日	渡辺 和宣
7	顧客満足度向上対策 ・顧客満足とは・顧客満足を科学的に分析し有効な効果に結びつける方法	1 日	諏訪 良武
8	文章作成術	1 日	福田 修
9	クリティカルシンキングとクリエイティブシンキング	1 日	中谷 英雄
10	Appreciative Inquiry ポジティブ心理学を用いた組織力強化	1 日	渡辺、清水

お問合せ先



一般社団法人アドバンス・ビジネス創造協会 (ABC協会)

常務理事 三木 徹 e-mail: miki@abc-a.jp 携帯 090-1210-2677

電話&FAX 03-6277-2055

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-7-11 アイオス五反田アネックス601